

決算討論

〔一般会計〕

一般会計決算に対し、4名が討論をおこないました。



― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

遠藤 義法 議員

市民の満足度調査結果から決算内容を検証します。「市民意識調査」の満足度では、公共交通の充実が0ポイント、浸水被害の軽減は0・4ポイント、道路整備はマイナス0・05ポイントでした。公共交通では、タクシー利用料金助成制度を実施していますが、市街化の方々に支給していません。事業をほじ

めた平成29年度以降も満足度は上がっていません。公共交通の施策が不十分です。浸水被害の箇所はいつも同じです。緊急に冠水対策をとる必要がありますが、事業の方向性が定まっています。生活道路の整備要望は切実です。市民に計画を知らせて実施していく、「見える化」が大事です。しかし、市は実施する姿勢がありません。

職員意識調査結果からも、早期退職者の増加傾向や仕事に取り組む意識の低下が見受けられます。組織の在り方や研修を強化し、市民の負託に応える職場環境にすべきです。



― 賛成討論 ―

市民の会・無所属

伊藤 正勝 議員

認定の理由。想定外のコロナ対策について総体として適切に取り組んでいること。ワクチン接種を始めPCR検査、救命救急の活動。市民生活や経済活動への支援。電気料金の値上がり等物価高への対応も。全庁あげての取り組みで多岐に渡る通常業務も混乱なく進んでいると評価。「デジタル変革」の新たな

うねり。デジタル推進本部を設置し国の方針に基づいてシステムの標準化共通化への準備。オンライン会議の日常化。各種データの電子化、電子による事務処理も。ICT教育。前年度に吉川でも小中学校の児童生徒全員にタブレット型端末の配布。教職員児童生徒、保護者、市教委それぞれが定着に尽力。会計年度任用職員。制度改正2年目。ワクチン接種等臨機の業務に180人が従事。年間延べ580人が参画。一般職員と両輪での働

き。この役割と存在感。働き方改革につながるか注目。

未来会議よしかわ

稲葉 剛治 議員

未来会議よしかわは、市民の方から寄せられる多くの声をもとに、現場に足を運び、状況を確認し、会派内で丁寧にまとめた内容を協議し取りまとめた内容を中原市長、担当部長、職員の方々へつなぎ、予算要望などに盛り込むなどして事業に反映するよう提案をおこなってきました。「第6次総合振興計画」の

推進、「DX」分野等の取り組みの前進、各重点テーマ、主要施策について着実な進捗、ウクライナ情勢や為替変動の影響による原油価格や物価の高騰などに対応するため、プレミアム付商品券発行事業、事業者連携発展支援補助金や原油等価格高騰対策支援金の実施等、状況に応じたさまざまな支援策が機動的に展開され、これまで継続的に実施されている事業に加え、

突発的な出来事があった際にも的確に対応し、迅速に動きをとることができる組織運営を高く評価します。



公明党吉川市議員団

大泉 日出男 議員

生命(いのち)を守る、生活を支える、地域経済を後押しするという理念のもと、国、県、民間との連携をはじめ、特に庁内での横の連携を重視した事業計画、予算編成を行っていたべき評価します。

関小学校地区での減災プロジェクトでは学ぶ点、今後の課題が浮き彫りとなった一方で気づきや発見の成果があったと考えます。災害に備えたデジタル活用への推進を今後